

2026 年 10 月 23 日

「ひびしんサステナビリティ・リンク・ローン」に係る 宮田建設株式会社の CO₂排出量削減目標の達成について

福岡ひびき信用金庫（理事長 一江哲哉）は、宮田建設株式会社との間で 2025 年 5 月 23 日に締結した「ひびしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下ひびしん SLL^{※1}）」に係る、2025 年度 CO₂排出量削減目標（Scope1^{※2}・Scope2^{※3}、算定対象期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）に対する達成状況を確認しました。

同社から報告を受けた CO₂排出量および削減率について、第三者機関による検証結果と照合し、相違がないことならびに削減目標を達成したことを確認しましたので、お知らせいたします。

当金庫は、地域密着型金融機関として、今後も「地域の人々の心と生活（暮らし）を豊かにする」というミッションの実現に向け、SDGs の達成や ESG^{※4} 経営の推進を通じて地域課題の解決に取り組む企業とともに、地域経済の活性化に貢献してまいります。

記

宮田建設株式会社は、CO₂排出量削減施策として、省エネ運転の励行や不要時の消灯など、エネルギー使用量の削減に取り組み、初年度の削減目標を達成しました。

同社は、今後も引き続きエネルギー使用に伴う環境負荷の低減を進めるとともに、ZEH-M の施工技術向上を通じて、社会課題である CO₂排出量の削減に貢献してまいります。

◆ひびしん SLL で設定された KPI^{※5} と SPT^{※6}

KPI：宮田建設株式会社の CO₂排出量（Scope1・Scope2）

SPT：2025 年度の宮田建設株式会社の CO₂排出量（Scope1・Scope2）を 2024 年度対比にて 3.6%削減

◆SPT の達成状況

基準年度（2024 年度）、2025 年度の実績について、宮田建設株式会社から提出された資料と第三者機関である e-dash 株式会社の検証結果を照合した結果、基準年度は 61.14 t-CO₂、2025 年度は 53.58 t-CO₂となり、基準年度比 12.36%削減したことを確認しました。

<用語説明>

※1「サステナビリティ・リンク・ローン」

持続可能性に関する目標を設定し、その達成状況に応じて融資条件を連動させる融資商品。

※2、※3「Scope1、Scope2」

事業活動において自社が直接排出する温室効果ガスを Scope1、購入した電力等の使用に伴う間接的な温室効果ガス排出量を Scope2 という。

※4「ESG」

Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）の頭文字を組み合わせた言葉で、企業経営や投融資の重要な視点として用いられる。

※5「KPI」

サステナビリティ目標の進捗を測定する・評価するための重要指標。

※6「SPT」

サステナビリティ目標として設定する具体的な達成目標。

CO ₂ 排出量（t-CO ₂ ）	
	本社および支店合計
基準年度（2024 年度）	61.14
2025 年度	53.58
基準年度比削減率	▲12.36%

本リリースに関するお問い合わせ
福岡ひびき信用金庫 経営企画部
担当：小茅
電話：093-661-2413